

## 中東情勢による価格高騰、経営への影響等について調査結果【大阪府塗装工業協同組合】

○調査実施日 令和8年4月6日(月)～10日(金)  
 ○調査回答数 大阪支部：97社のうち33社(回答率：34.0%) 全国2,306者のうち850社(回答率：36.9%)

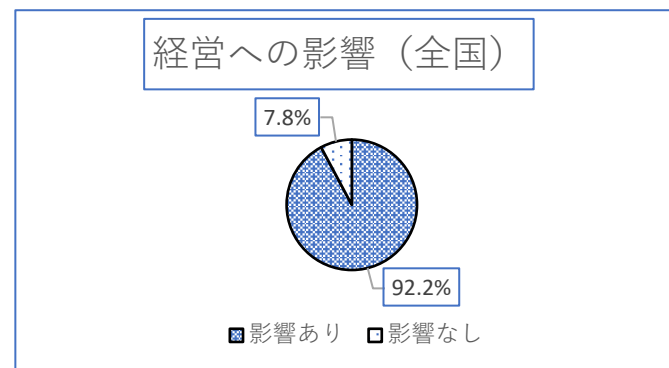
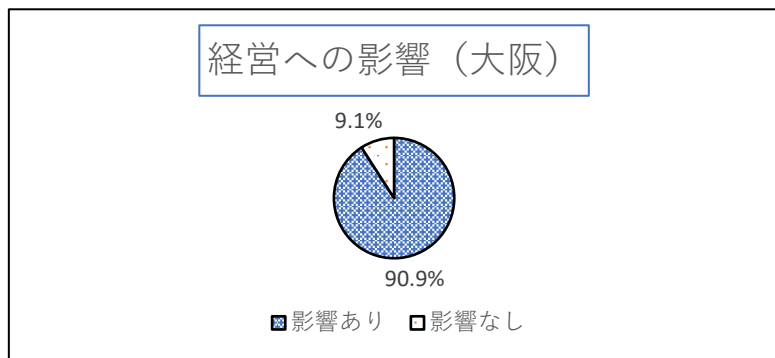
### 1 昨今の中東情勢の動向に係る経営への影響について

<大阪府支部>

・中東情勢の動向について経営に「影響がある」とした会員は33社のうち30社(90.9%)となっている。

<全国>

・850社のうち、784社(92.2%)の会員が「影響がある」と回答している。



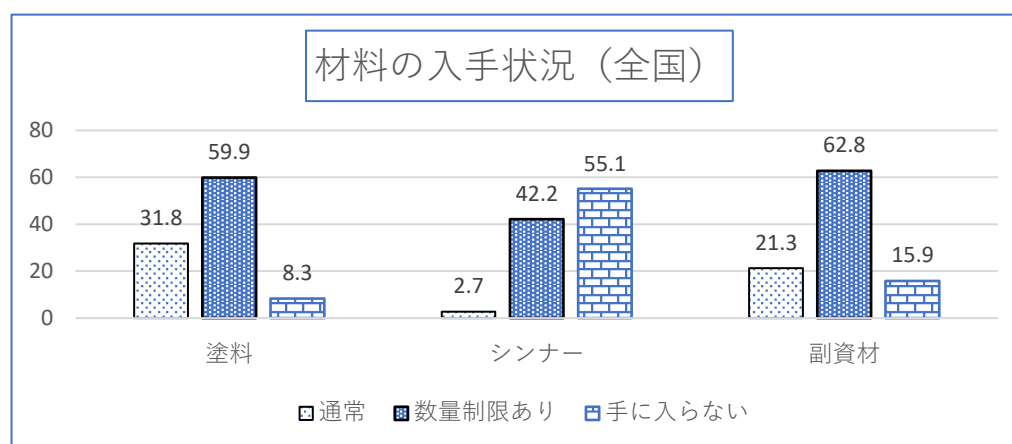
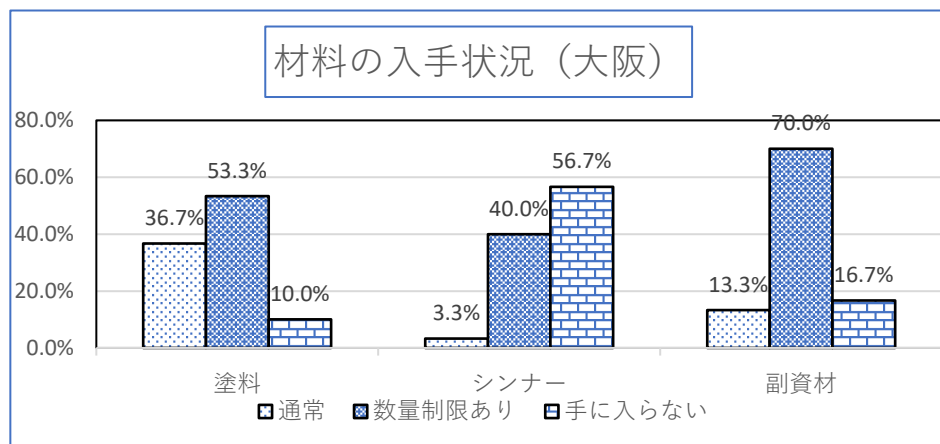
### 2 塗料、シンナー、副資材等材料の入手状況について

<大阪府支部>

・塗料は63.3%の会員が「数量制限あり」、又は「手に入らない」状況となっている。希釈や洗浄に不可欠なシンナーは「通常どおり入手できる」と回答した会員は3.3%となっている。

<全国>

・塗料は約7割が「数量制限あり」、又は「手に入らない」状況となっている。希釈や洗浄に不可欠なシンナーは「通常どおり入手できる」と回答した会員は2.7%となっており、現場の生命線が断たれつつある。また、さび止め塗料や防水材にも不足が波及している。



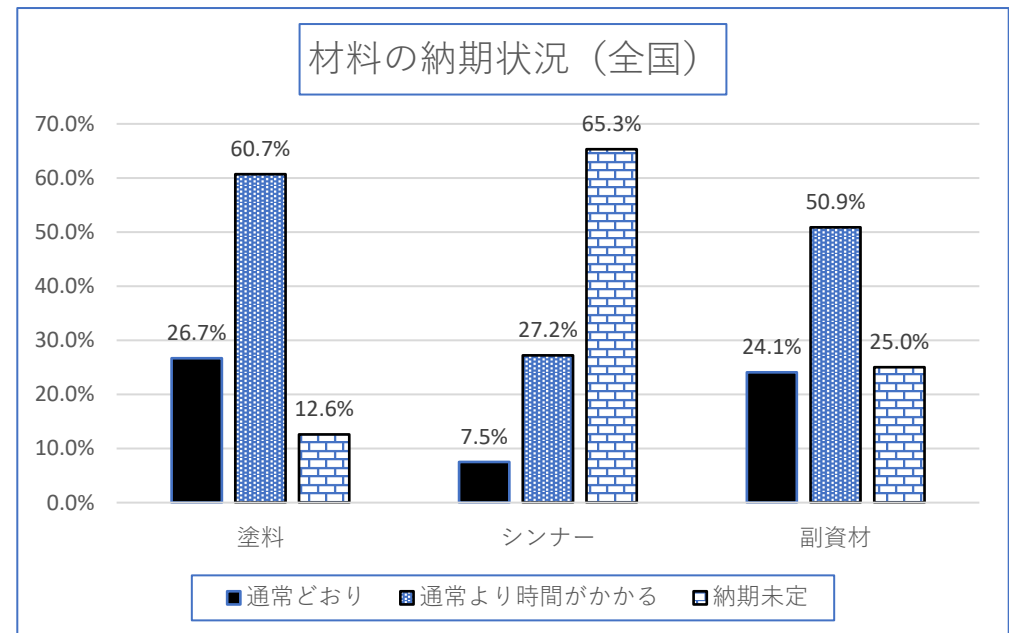
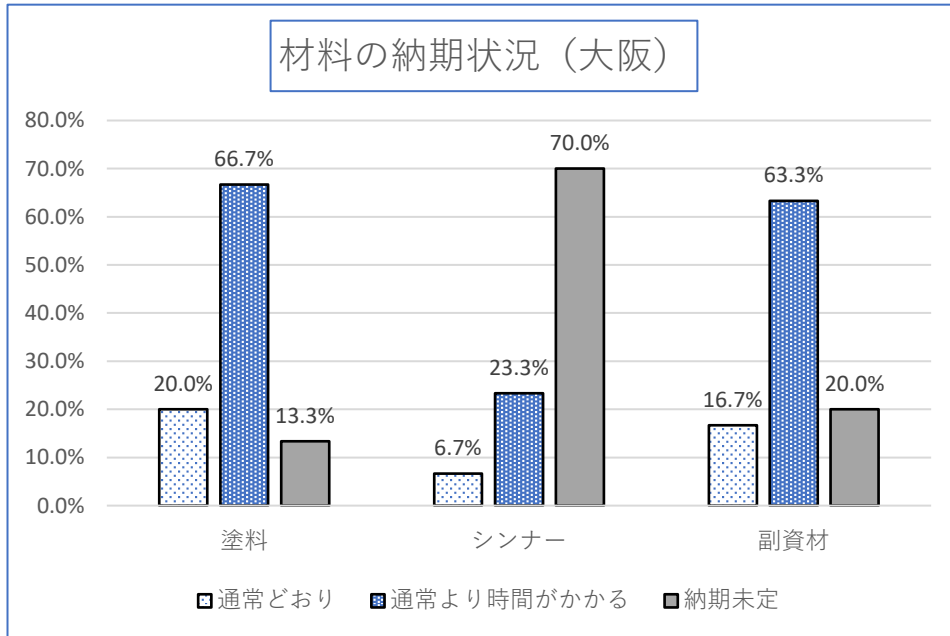
### 3 塗料、シンナー、副資材等材料の納期について

<大阪府支部>

- ・塗料、シンナー、副資材等材料の「納期未定」状況をみると、塗料は13.3%、養生シートやテープ等副資材は20.0%であるのに比べてシンナーは70.0%と高くなっており、工期への影響が懸念される状況となっている。

<全国>

- ・シンナーの65.3%が「納期未定」となっており、工期への影響は避けられない状況です。環境配慮型（水性）塗料への転換を進めているものの、鋼橋等のインフラ維持に不可欠な溶剤系塗料はシンナーを必要とするため代替がきかない。養生シートやテープ等の副資材も樹脂系原料の不足から入手が困難となっている。



### 4 塗料、シンナー、副資材等材料の価格高騰について

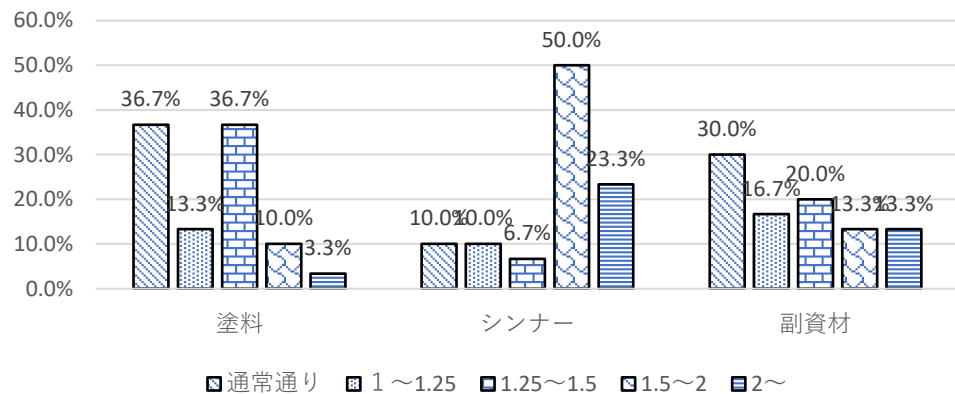
<大阪府支部>

- ・塗料は63.3%、シンナーは90.0%、養生シートやテープ等の副資材は70.0%が値上がりしている。とりわけ、シンナーの価格高騰が極めて顕著であり、「1.5倍～2倍」が50.0%、「2倍以上」が23.3%となっている。

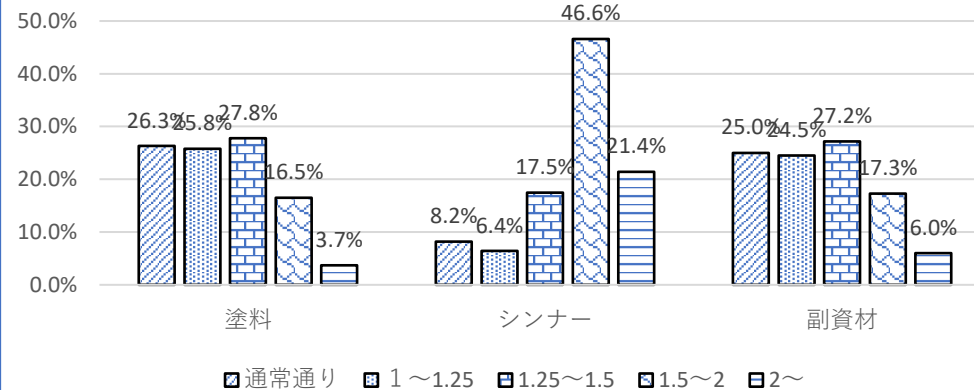
<全国>

- ・全般的な値上がりに加え、シンナーの価格高騰が極めて顕著であり、「1.5倍～2倍」が46.6%、「2倍以上」が21.4%に達している。これほどの急激かつ大幅な高騰は、個別の企業努力で吸収できる範囲を張るかに超えている。

材料の価格（大阪）



材料の価格（全国）



5 今後、不安に感じていることについて

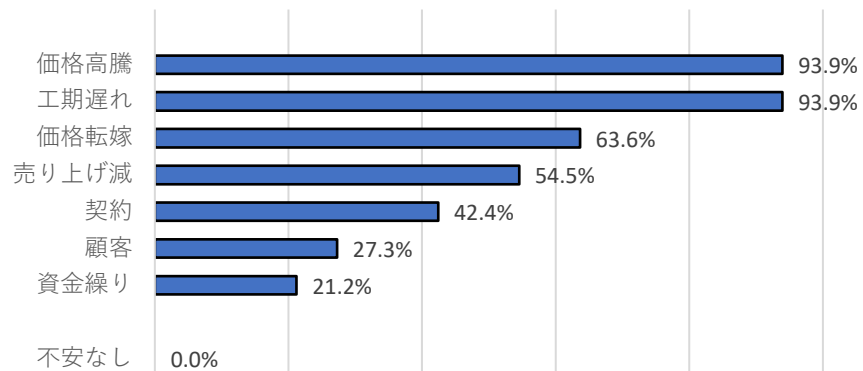
<大阪府支部>

- ・今後、不安を感じることにしてみると、「更なる価格高騰」、「工期の遅れ」がともに93.9%と高くなっている。次いで「価格転嫁できない」が63.6%、「売り上げの減少」が54.5%と続いている。

<全国>

- ・92.7%の会員は「更なる価格高騰」を、また84.6%が「工期遅れ」を懸念している。建設業法では価格変更や工期調整の協議が認められているものの、特に民間工事で元請や発注者が実際に協議に応じてくれるのかという強い不安や資金繰りの悪化から従業員の給与支払いを案じる切実な声も寄せられている。

今後、不安に感じること（大阪）



今後、不安に感じること（全国）

